

第2510地区 第11グループ



2007~2008

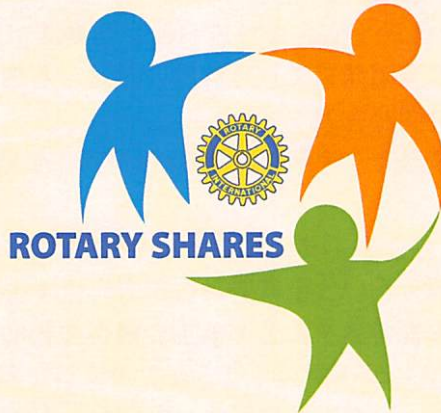
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは 分かちあいの心



2007~08年度
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

Wilf. Wilkinson

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



3月12日卓話 菅野 剛造 氏

《第2145回例会》 第 35 号 3月19日(水)

本日のプログラム

夜 間 例 会

函館国際ホテル 午後6時30分~

★会 長 石 橋 輝 夫

★幹 事 渡 部 二 康

例会場：函 館 国 際 ホ テ ル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

アクト必携には書かれております。アクトから見れば上記のままで良いのですが、立場を替えてロータリーから見ると「ローターアクトクラブを現実的で、実効性の高い新世代活動の一環」と捉える事ができます。

提唱クラブと未提唱クラブの存在

今回この計画書を作成した理由は、ガバナー補佐の皆様のお力をお借りして、新世代活動の有効的なプログラムの一つとして、「ローターアクト」をぜひともグループ内の会長幹事会等で、議題に取り上げて頂きたいからです。

次ページに提唱クラブとアクトクラブ名 連絡先を記載しておりますのでご活用下さい。既にローターアクトを提唱しているクラブであっても、ただ提唱しているだけ（助成金を出している）の状態になってしまうと、アクトにロータリークラブと同等の活動あるいは結果を求め、その温度差（実力差？）から疎遠になっていく傾向があります。また、ひとつのロータリークラブがひとつのローターアクトクラブを提唱するのが本来の姿ですが、前ページの2650地区でも共同提唱（2つ以上のクラブがスポンサーになる）を用いる事で、それぞれのクラブの新世代活動を実践し、ローターアクトの会員増強に繋げております。2510地区内でも、千歳と恵庭で既に実例があります。すぐに共同提唱するのは無理でも、未提唱クラブが近隣のローターアクトクラブと共同事業等を行う事で、新たな新世代活動を成功させると共に、その提唱ロータリークラブとの友好関係が築ける事は、ロータリークラブ同士に新たな親睦が生まれるのではないのでしょうか。また、将来的にはひとつのグループで、ひとつのローターアクトクラブを提唱していけないものかと模索中でございます。

末筆ながら、皆様の次年度のご活躍をご祈念申し上げます。

(地区新世代委員長：松見 修二 会員より)

石橋をたたいて渡る・・・

めまぐるしく変化する現代社会

今ほんとに必要なことは、「ゆっくりとほどほどに」

石橋をたたいて渡るくらいの慎重さでは？



函館北ロータリークラブ

石橋をたたいて渡る提案

石橋輝夫

(広告掲載：石橋 輝夫 会長)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎ 2月27日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	22名	当日欠席	3名
他クラブ出席	5名	出席合計	27名
出席率		90.00%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

**次回・3月26日
プログラム**

早 朝 例 会

於 函館国際ホテル 午前7時00分～

2007~2008 <第 2144 回例会> 第 34 号

3 月 12 日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長 ◎齊 唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ゲ ス ト (株)日刊政経情報社 代表取締役 菅野 剛造 氏

◎ビジター 函館 R.C. 勝木俊彰君、函館東 R.C. 時田 茂君・石畑弘樹君、
函館五稜郭 R.C. 大日向豊吉君

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

●理事会報告

(1)友好クラブ訪問について

ニコニコの友好クラブ費からお祝い金をはじめ参加会員への補助などを支出することで了承される。

(2)地区協議会について

山下(清)、成田、弗田、阿部、泉 会員が出席するので一般会計の地区協議会費より若干の補助をすることで了承される。

(3)韓国との友好クラブについて

韓国のクラブから和歌山城南 R C 経由で友好クラブ締結のお話がありましたが、当クラブとしては現在 3 クラブと友好クラブ締結をしているため無理とし、代わりに他のクラブを紹介することとした。

◎函館東 R.C. 時田 茂、石畑弘樹氏より

○昨年行われた、函館東ロータリークラブ 50 周年記念行事の一環として、清水國明氏記念講演及び記念植樹が行われます。ふるってご参加ください。

◎幹事報告 渡部 二康 幹事

○和歌山城南ロータリークラブより会報が届いておりますので回覧いたします。

○3月25日函館東 R C 自主休会に変更です。

◎親睦活動委員会 渡部 二康 幹事

ニコニコ BOX 投入報告

石橋会長・渡部幹事・南木会員・増田会員・深瀬会員……ゲストスピーカーの菅野さんを歓迎して。

小笠原会員・柴崎会員・森 会員・中川会員……春らしくなってきました。

函館東ロータリークラブ創立50周年記念事業
清水國明氏の会葬後
清水國明氏
記念講演
講演内容
『借りてる地球の使い方』
平成20年4月13日(日)
13:30開場/14:00開演
函館市市民会館大ホール
[入場料/無料]

生命の水を大切に!!
植樹ボランティア募集
平成20年
5月18日(日)
AM10:00集合
場所/函館市亀田中野町
[募集人員/250名]

◎卓話 『中国産ギョーザ』で思う事 (株)日刊政経情報社 代表取締役 菅野 剛造 氏

中国の農薬入り餃子が今話題となっておりますが、新聞等で話題となって初めて、これらの食品が殆ど輸入であることが分かった方も多数おられるでしょう。

我が日本の「食糧自給率」は39%となっております。昭和40年には73%、平成元年には50%、同10

年には40%、つい2年前には30%台にまで落ち込みました。

主たる原因は、食生活の変化に求められるだろうと思われます。主食・米に対する米離れ、一方での肉・油脂類の消費増加。これらの変化が輸入食品の増加を助長し、食糧自給率の低下を招く結果となっております。

さらには、世界的な傾向ですが、地球の温暖化・天候不順があげられます。つまり、既存の地域からの安定的な食料（穀物）の供給が求められなくなってきたのです。地球温暖化による、干ばつ等々です。

視点を変えますと、人口の都市部集中もあげられようかと思われます。人口の都市部集中により、食糧（穀物）生産地域が過疎となり、土地の荒廃をもたらし、肥よくな土地を持つ地域をさらに限定します。

このままでは、聖地ならぬ「農地」獲得のための、「戦争」も起きかねないと極論出来るのではないのでしょうか。

さて、日本、特に私達の暮らす「北海道」ですが、現在までのところ、食糧自給率は、200%に近く、特に問題はなさそうに見えますが、人口の札幌集中という大問題を抱えております。

自給率が高い地方への支援により、自国の自給率を高く維持することが次第に困難になりつつあります。それは、穀物の品種改良等では対処できない、天候不順、人口の札幌集中による過疎化等です。当然のことですが「過密」と「過疎」は同時に進行致します。

我が「北海道」に特徴的なのは、人口の流れが、本州に向かわず、「札幌」だけに集中するという傾向です —— 「札幌ダム論」。それに輪をかけて、「札幌」に人口が集中し発展することにより、北海道全体がその波及効果に預かれるといった論評まであります —— 「札幌機関車論」

私に言わせれば、笑止であり、ナンセンスとしかいいようがありません。

北海道は他県と違い、その土地の面積が莫大に大きいので、一地域の発展が、他の地域の発展に寄与することは稀有であるといえるからです。

所詮「トリクルダム説」は強者・経済順風下の論理であり、現在のような経済状況下では、人口の一極集中は「ストロー効果」をのみ助長するものであると断言いたします。

(会報担当者：阿部 誠太 委員)

地区研修セミナー

地区ローターアクト委員長 五十嵐 桂一（千歳RC）

2510地区ローターアクト再生計画

はじめに

この計画書は、当地区ローターアクト活動が衰退を続けている現状を皆様に御理解いただくと共に、他の地区を参考にローターアクト活動を再生する為に、当委員会が作成しました。

現 状

2510地区内では現在活動中のローターアクトクラブが9クラブ、休会中が3クラブ、解消したクラブが5クラブ有ります。会員数は74名（1月現在）で、年度当初より3名増えていますが、最盛期の約4分の1です。日本全国でもほぼ似た様な状態で、総数は約3分の1にまで減っています。

ローターアクト活動が活発なのは主に関西地区で、京都を中心とした2650地区では400名余りの会員が熱心に活動しています。が、活発な地域のローターアクト会員は主として学生で、学校単位でのアクトクラブを複数のロータリークラブが提唱する形式をとっている様です。

ローターアクトとは？

皆様の中には、所属クラブがローターアクトを提唱していない方も多数いる事と思われますので、ほんの少しだけ説明を、、、

1968年に誕生したローターアクト活動は今年の3月で40周年を迎えます。当地区では事実上、日本で最初のクラブが岩見沢に誕生しました（公式な記録では川越クラブが1番になっています）。目的は、青年男女（18歳から30歳）の能力開発に役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域に親睦と奉仕活動を通じ、より良い信頼関係を築く。と、ローター